

バスがエゲラグの佐々木パゴダに到着したのはお昼頃でしたが、寒い屋外の道場で地元の子供達が柔道着を着て整列して待っていてくれたのには感激しました。このパゴダは、サボー (Szabó Ferenc) さんという方が自分の家の庭に作った屋外柔道道場です。

これに感動した日本人選手たちは、早速柔道着に着替え、皆さんと稽古をしました。その後は、すっかり打ち溶けた雰囲気になり、とても楽しいひと時となりました。いくつかの写真を掲載します。



図16：佐々木パゴダでの記念撮影（上）とパゴダへの門の前で日本人選手とくつろぐ地元の子供たち（左）。正面の選手は60kg級の村山君。



図17：地元の子供たち(左)とパゴダを作ったサボーさん(上)。サボーさんはハンガリーの正装をしておられる。

この日は、その後お昼をご馳走になり、再びバスで北のオーストリアの国境近くのギョールという町に向かいました。途中で交通事故現場に出くわしたこともあって、ギョールの町に着いたのは午後7時ごろでした。本来は午後5時に着くはずとのことでしたが、着いたのは、まわりも真っ暗になった7時でした。

それでも、会場では多くの子供たちが待っていてくれました。再度、日本人選手たちも柔道着に着替えて練習に立ち会いました。



図18：ギョールの町の道場。ここには中神さんという日本人の方が居られるが、その方の奥さん(写真中央)が柔道に熱心だとのこと。今回の訪問の機縁となつたらしい。



図19：ギョールの練習風景（上）と記念撮影（下）。



図 20 : 今回の旅で通訳をしてくださり、とてもお世話になった山賀さん (左)、中村コーチ (中央)、そしてギョールの町の中神さん (右)。

佐々木道場開所式

最終日の4日目は、日本人選手の皆さんや山賀さんとお別れし、朝からブダペストに戻りました。朝早くからオジュバーさんが迎えに来てくれ、前日から再度一緒になったチョルゴさんと昭子さん、そして私の4人でブダペストに向かいました。

この日は比較的日程に余裕があったため、6ページの図6ですでに示したブダペスト大学の運動部へ行ったり、ドナウ川の河畔を歩いたりしました。



図 21 : ドナウ川の河畔で、チョルゴさん (右)と昭子さん (左)。

柔道に関して、この日のメインイベントは、佐々木吉三郎道場の開所式でした。この日のために、あらかじめ皆さんからもご同意いただいた手紙を額に入れ、手渡すことにしました。右に示しますように、皆さんを代表して、私と昭子さんがサインいたしました。

道場に到着後は、テープカットがあり、それから道場の方々との歓談がありました。多くの方にお会いしましたが、柔道でシニアの方の大会が世界柔道選手権大会に併行して行なわれ

るらしく、先回のブラジルにおける世界柔道選手権大会でも、このシニアの部で優勝したという方もお見えになりました。

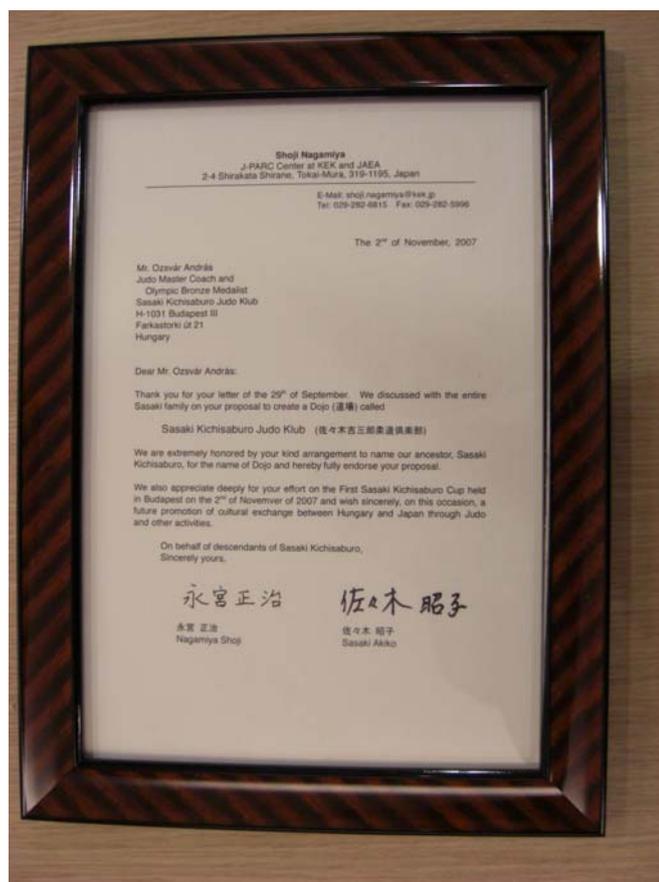


図 2 2 : 佐々木道場開所に対する私たちの同意書。



図 2 3 : 世界柔道選手権シニアの部で何回か優勝したことがあると言っておられた方 (名前不詳)。

この旅ですっかりお世話になったオジュバーさん家族とチョルゴさんも開所式に来られました。こんな写真をいくつか並べることにします。



図24：オジュバーさんのご家族。上の娘さん（左）は Lawer で、下の娘さん（右）は歯学部 of 大学生。



図25：チョルゴさん（左）と昭子さん（中央）とオジュバーさん（右）。

おわりに

佐々木道場開所式のあと、ドナウ川の河畔のレストランで昼食をし、その後空港に向かいました。あわただしい、そして、びっしり

とスケジュールの詰まった4日（丸3日）でした。

11月1日に着いたときは、どうなるのかなと不安も混じっていましたが、終わってみれば本当に充実した数日だったと思います。皆さん、とても親切にしてくださいました。また、多くの少年少女が柔道着を着て生き生きと練習していた姿は、今でも脳裏に焼きついています。吉三郎さんが天国からこの光景を眺めたら、さぞ喜ばれるだろうと、そんなことを考えて帰路につきました。

お土産も沢山いただきました。また、皆さんにサインもしていただきました。サインの寄せ書きとお土産の写真を載せて、今回のこの報告は終わらせていただきます。また、最後の最後に、私のアルバムにあった佐々木吉三郎さんの写真を再度掲載しておきます。今回のハンガリー旅行では、この写真がいろんなところに飾られ、また、CDの写真にも使われていました。多分、昔の私の旅行記からとったのでしょう。

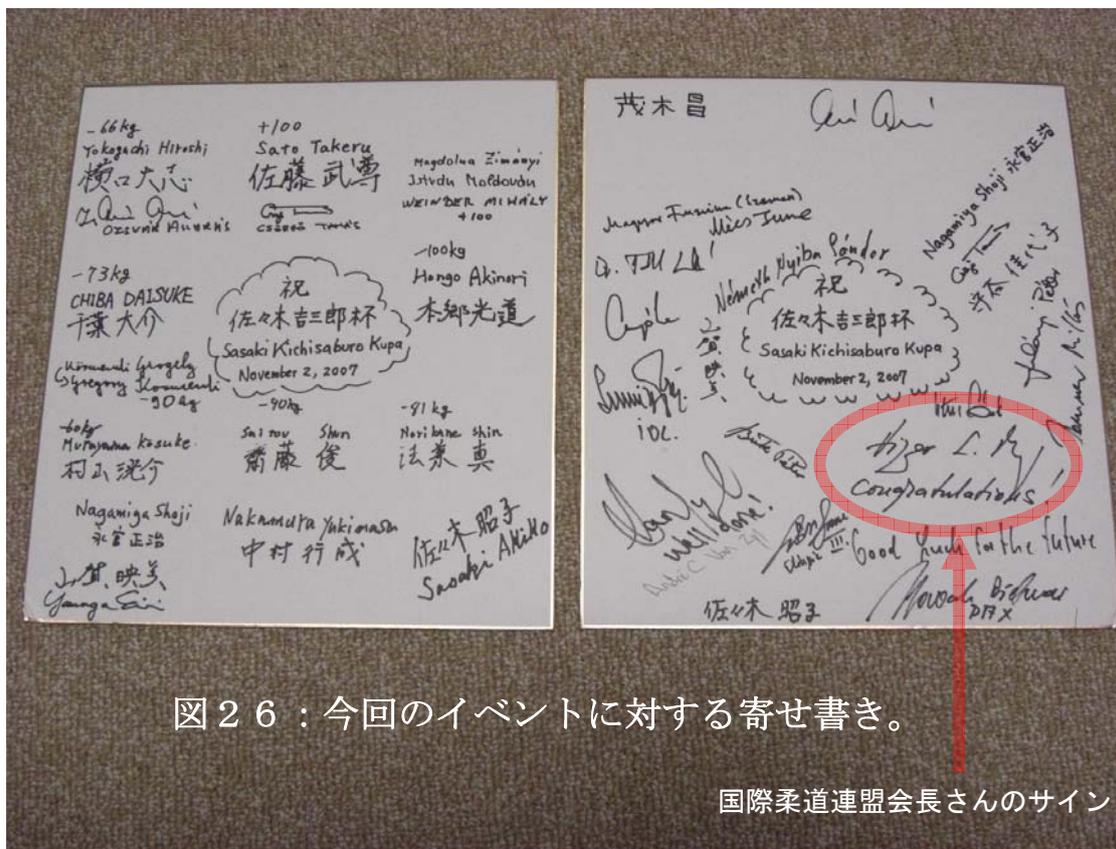


図26：今回のイベントに対する寄せ書き。

国際柔道連盟会長さんのサイン



Tシャツの表と裏

名前入りのワインとお皿



図 2 7 : お土産の数々。佐々木杯を記念したワイン、Tシャツ、お皿、等々がありました。



図 2 8 : 私のアルバムからとった佐々木吉三郎さん。
この写真が今回は随所に飾られていました。

追記：この旅行記をオジュバーさんに送りましたら、早速、沢山の写真を送っていただきました。その内、いくつか写真を掲載します。



到着直後のブダペスト空港ロビー。花束とワインの出迎えがあった。



到着直後の晩餐会。左から、国立図書館の Moldovan さん、Zimanyi 夫人、

私、中村コーチ。左のお二人には2年前にすっかりお世話になった。



佐々木杯の前の日本文化紹介の一部。



国際柔道連盟会長の Viser さんと私。



本文では名前不明と書いたが、ハンガリー柔道界連盟会長のラズロ (László Tóth) さん (左) とチョルゴ (Csörgő) さんと私。



ハンガリー柔道百年を歌うネメスさん。13 ページの図 14 に掲載した CD を作ったネメスさんです。



佐々木道場開所式



佐々木道場開所式の際の、オジュバーさんの奥さんのロズナ (Rózsa) さん。



日本人選手の皆さん。下は佐々木道場の前で。